

■鎌倉投信さんは、『社会が良くなるために必要なこと』を使命感を持って行っている会社でした。

「その会社の社長がいなくなっても、DNAが残る会社に投資します。」



100年個人投資家に支持される長寿投信を目指し
300年社会に貢献する企業を支援し
1000年続く持続的な社会を育む。

今回の取材では取締役 資産運用部長 新井 和宏氏にお話を伺いました。



取締役 資産運用部長の新井 和宏氏
日系信託銀行、外資系投信投資顧問会社等を通じ20年以上にわたり資産運用業務に携わる。豊富な運用経験を有し、前職での運用資産額は、1兆円を超える。2008年11月 4名の志を共有する者と共に鎌倉投信(株)を創業。資産運用部長として運用業務を統括する。



鎌倉にある築80年の日本家屋を再生し本社にされています。自然光と虫の音が響き、扇風機の柔らかな風の中お話を頂きました。お金や金融は豊かな社会を育む水脈のようなものだと考え、長期的な視野で“人と人”“世代と世代”を繋ぐ調和ある社会の発展に資するものだと考える、鎌倉投信の理念が貫かれた職場だと思えました。

Q & A

鎌倉投信とはこういう会社でした。

Q「新井さんはいい会社をどうやって発掘してるんですか？」

A「**口コミ**です。色んな方が教えてくれます。どこに投資するかが我々の仕事ですから一番大事なところですよ。でも、**投資先は自分が選ぶものではなく社会が選ぶもの**だと思います。それが口コミになって私の耳に入る。もちろん直接訪問してあらゆる角度から調査します。最後は社内会議で、全員一致で決定です。」

Q「全員一致しなきゃ投資先を決定しない？」

A「基本的に。だから会議には熱が入ります。**目の前の投資家を説得できなければ、直接に企業を見ない投資家さん達を説得できないですよ。**」

Q「投資先の業種業態も様々ですから、選ぶ軸を持つのは難しそうですが？」

A「モノもサービスも飽和状態です。今、分かりやすい差別化なんてできません。そしてどの業種も企業も必ず競争に巻き込まれます。だからソコで勝てる強烈な**“ココにあるしかない地域性”**“やる意味を突き詰めた本業の拡大解釈”**“メッセージ性”**がある会社かどうかを見極めるのがポイントだと思います。」

Q「直接トップと会うのでしょうか、どんな方に会った時、新井さんはドキドキしますか？」

A「**カリスマ経営者じゃない方がいい**。その後を継ぐ人がいませんから。我々の投資先は**100年続いて社会の役に立つ会社**じゃないと困るんです。何もできないけど人が良くて、周りの人が代わりに頑張ってくれちゃう。そんなトップと会いたいんです。且つ、**死ぬまでコレをやり続ける。死なないと諦められない！**そんな**使命感**がある方。例えばその方が死んでもDNAが残る会社がいい。いい会社になろうとし続けたいと思いません。」

Q「この間の受益者総会では、金銭的な質問が一切なく、みんな笑ってばかりだったと聞きました。」

A「そうです。ホンモノの会社に**自分のお金が生きて使われているという実感**があるからだと思います。我々の選んだ会社が世の中からなくなる事と預かったお金がなくなるのでは、**会社がなくなる方が社会的損失が大きい。だからリスクを負って欲しいと真っ直ぐ説明します。**一度事業に失敗した会社にも**投資**します。他の金融機関はまずやらないことです。」

Q「他の金融機関がやらない事をやるのは鎌倉投信の使命ですか？」

A「30年低迷しているマーケットって日本だけです。**社会的課題が多すぎるから世界は日本に期待が持てない**んです。だから、課題を解く力がある＝社会と世界に貢献する会社を応援しないとダメなんです。そういう会社は**お金に困ってちゃダメ**なんです。それには金融がキチンとしていなければ。そうじゃなきゃ**社会は良くなりません。この会社となら心中する！**って宣言する金融機関があってもいいじゃないですか。」

・・・こういう金融機関があってもいい。鮮烈にそう思いました。



おもてなし経営企業選
～地域でわかりやすくニッポンのおもてなし企業の秘訣～

今回の出会いの始まりのお話。エム・トゥはおもてなし企業選を応援します。

「おもてなし経営企業選」は、経産省が推進するプロジェクトの1つです。地域・顧客との関係を強化。価格競争ではなく高付加価値のサービスで勝負する経営の事で、中小企業が目指すべきビジネスモデルの1つとして経産省が普及を目指しています。この取組みは、当社コンサルティングのメインテーマに据える「理念経営」と一致。当社も経産省と連携しながらセミナーやフォーラムを開催し当プロジェクトを応援して参ります。「NPO法人いい会社をふやしましょう」の理事でもある新井さんは、おもてなし企業選の選考委員として尽力され、思想が素晴らしいと経産省のご担当者からご紹介頂きました。今後、当社セミナー等にもご登場頂く予定です。皆様喜んで頂ける事を思い、楽しみにしています。 記.伊藤亜季